

# 日医ニュース

No. 1327  
2016. 12. 20

発行所 **日本医師会**  
Japan Medical Association  
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
電話 03-3946-2121(代) / FAX 03-3946-6295  
E-mail wwwinfo@po.med.or.jp  
http://www.med.or.jp/  
毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)

首都直下大震災を想定した  
衛星利用実証実験2016  
..... 2面  
羽鳥常任理事に聞く  
..... 4面  
勤務医のページ  
..... 8面

横倉会長は、まず、内閣府の経済財政諮問会議（11月25日開催）において民間議員から提出された3つの提案について言及し、（1）「流通価格を適切に反映する仕組みの構築」については、「全ての薬価を毎年改定することは容認できない」と主張。

また、（2）「適正な市場価格等を反映した薬価へ」として提案されている3つの事項（薬価設定当初と異なる事態の際の迅速な薬価改定、薬価

算定の透明性、後発医薬品の引き下げ）については、「まさにこれまでの日医の主張と同じ方向性であり、改革を進めるべきである」とした。

（3）「研究開発投資の促進」については、「営利企業である製薬企業のイノベーションを促すための医療保険制度を維持しつつ、新しい医薬品を必要としている患者さんに使用していくかという視点で薬価算定の仕組みを根本的に見直すこと」を主張してきたことを改め



横倉義武会長は、11月30日の定例記者会見で、最近の薬価をめぐる動きを踏まえて、薬価算定の仕組みの見直しに対する日医の見解を説明した。その中では、「全ての薬価を毎年改定することは容認できない」とした他、現行の薬価算定の仕組みについても問題意識を示し、国民皆保険を守る立場から、今後も薬価算定の仕組みに対する意見を述べていく考えを示した。

「安全性・有効性が確認された新しい医薬品は速やかに保険収載されるべきだが、高額な医薬品は医療費全体に影響を及ぼし、ひいては国民皆保険の根幹を揺るがしかねない」と懸念もある」とした上で、「薬価算定の仕組みは、経済財政諮問会議で検討するのではなく、まさに中医師協が議論の場、まずは中医師協でしっかりと議論することが大切である」と強調した。

更に、同会長は、現行の薬価算定の仕組みに関して、外国平均価格調整については、「公的保険ではないアメリカにおける企業の希望小売価格も対象となっている。薬価収載後、外国平均単価が下がっているかどうか、オロオロとされている。反映もされていない。単価だけを単純平均することには意味がなく、市場規模も勘案すべき。原価計算方式では、既に採算がとれているはずだが、有用性とは関係なく、外国平均価格調整で最大2倍まで引き上げられる等の、また、類似薬効比

較方式については、新薬創出・適応外薬解消等促進加算後の薬価と比較すべき。薬価収載後の市場規模の推移は考慮されない。現在の為替レートで計算すると収載当時の薬価にならないケ

「安全・有効性が確認された新しい医薬品は速やかに保険収載されるべきだが、高額な医薬品は医療費全体に影響を及ぼし、ひいては国民皆保険の根幹を揺るがしかねない」と懸念もある」とした上で、「薬価算定の仕組みは、経済財政諮問会議で検討するのではなく、まさに中医師協が議論の場、まずは中医師協でしっかりと議論することが大切である」と強調した。

「安全・有効性が確認された新しい医薬品は速やかに保険収載されるべきだが、高額な医薬品は医療費全体に影響を及ぼし、ひいては国民皆保険の根幹を揺るがしかねない」と懸念もある」とした上で、「薬価算定の仕組みは、経済財政諮問会議で検討するのではなく、まさに中医師協が議論の場、まずは中医師協でしっかりと議論することが大切である」と強調した。

「安全・有効性が確認された新しい医薬品は速やかに保険収載されるべきだが、高額な医薬品は医療費全体に影響を及ぼし、ひいては国民皆保険の根幹を揺るがしかねない」と懸念もある」とした上で、「薬価算定の仕組みは、経済財政諮問会議で検討するのではなく、まさに中医師協が議論の場、まずは中医師協でしっかりと議論することが大切である」と強調した。

## 横倉会長 薬価算定の仕組みの見直しに関する日医の見解を説明 国民皆保険を守る立場から 引き続き意見を述べていく

「安全・有効性が確認された新しい医薬品は速やかに保険収載されるべきだが、高額な医薬品は医療費全体に影響を及ぼし、ひいては国民皆保険の根幹を揺るがしかねない」と懸念もある」とした上で、「薬価算定の仕組みは、経済財政諮問会議で検討するのではなく、まさに中医師協が議論の場、まずは中医師協でしっかりと議論することが大切である」と強調した。

「安全・有効性が確認された新しい医薬品は速やかに保険収載されるべきだが、高額な医薬品は医療費全体に影響を及ぼし、ひいては国民皆保険の根幹を揺るがしかねない」と懸念もある」とした上で、「薬価算定の仕組みは、経済財政諮問会議で検討するのではなく、まさに中医師協が議論の場、まずは中医師協でしっかりと議論することが大切である」と強調した。

「安全・有効性が確認された新しい医薬品は速やかに保険収載されるべきだが、高額な医薬品は医療費全体に影響を及ぼし、ひいては国民皆保険の根幹を揺るがしかねない」と懸念もある」とした上で、「薬価算定の仕組みは、経済財政諮問会議で検討するのではなく、まさに中医師協が議論の場、まずは中医師協でしっかりと議論することが大切である」と強調した。

## 日本医師会・日本医学会合同記者会見 医学研究等における倫理指針の見直しの方向性を評価 横倉会長、高久日本医学会長



「医学研究等における個人情報保護法の施行に個人情報の取扱い等に関する倫理指針の見直しの方

「医学研究等における個人情報保護法の施行に個人情報の取扱い等に関する倫理指針の見直しの方













